

報道提供資料

&lt; 同時提供 &gt;

大阪府政記者会

大阪経済記者クラブ

大阪商工記者会

問 合 先	大阪健康サービス産業創造協議会(OHS 協議会) ( 担当 : 卯津羅 (うづら) ・ 鋤納 (すきの) ) T E L 06-6946-6200 F A X 06-6944-3748
-------------	--

別途、シャープ(株)から本件と同様の内容について、大阪機械記者クラブに同時提供

## 癒し快適エビデンス評価・支援センター事業がスタートしました！

～ エビデンスを重視した癒し快適分野におけるビジネス創造を支援 ～

「大阪健康サービス産業創造協議会(OHS協議会)」では、エビデンス(科学的根拠)を重視した癒し快適分野における新たなビジネス創造を支援しています。今回、そうしたビジネス創造を総合的に支援する機能をサービスとして提供する「癒し快適エビデンス評価・支援センター事業」をスタートしました。今後、当センターでは、癒し快適分野で新事業創造を目指す企業に対し、実証実験構築支援、マーケティング支援、ビジネスマッチング支援、コンセプトプロモーション支援、そして評価サービス等さまざまな支援を提供していく予定です。

### 癒し快適エビデンス評価・支援センター事業(以下、センターと略す)について

- 1 開始時期：平成21年3月1日よりスタート
- 2 対象企業：OHS協議会会員企業
- 3 事業内容：癒し快適分野におけるエビデンス構築の為の実証実験構築支援サービス  
実証実験に基づいた「結果報告書」、「論文」等を対象に行う評価サービス  
癒し快適分野におけるビジネス開発の為のマーケティング調査サービス  
新たな商品開発、販路開拓を目的としたビジネスマッチング支援サービス  
癒し快適分野における商品展開を支援するコンセプトプロモーションサービス等

### センター設立の趣旨

社会構造の複雑・多様化や産業構造のより一層の高度化、効率化等を背景に、心と体の安らぎを提供する癒し、疲労回復・抗疲労、リラクゼーション、メンタルヘルスケア、快適空間等に関するビジネス(商品・サービス)市場が急速に拡大していますが、科学的根拠に基づいた商品やサービスであるかどうか明確になっていないものが、まだまだ多い状況でもあります。

しかし、中には、科学的根拠に基づいた実験プロトコルによる実証実験を着実・真摯に行い、論文等によって成果も発表されている商品やサービスも存在します。

当センターは、こうした玉石混交の癒し快適関連市場において、科学的根拠に基づいた商品・サービスであることを評価し、また、科学的根拠を確立する支援を行うことによって、癒し快適市場の健全なる発展を推進支援することを目的に設立するものであります。

### センターの機能と評価事業全体図

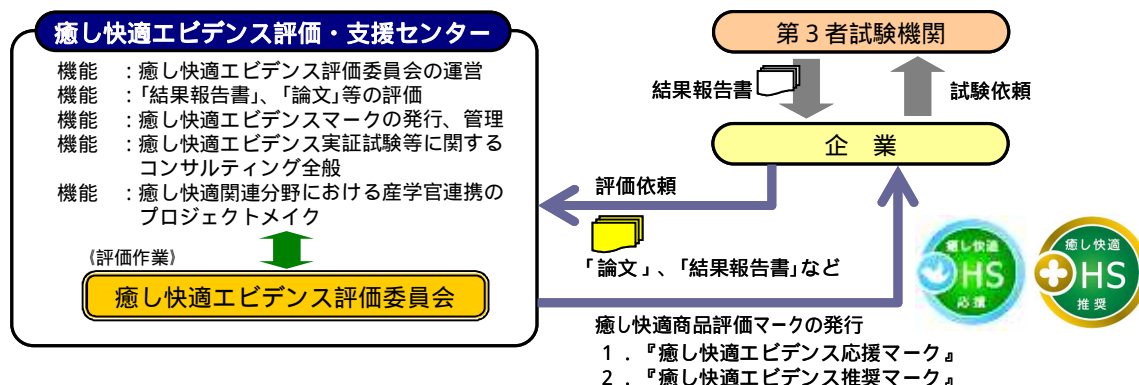
センターの主な機能は以下の3つです。

癒し快適のエビデンスに関し、「実証試験結果」および「論文」に基づいた評価を行う。

癒し快適エビデンス評価マークの発行・管理。 マークは2種類あります。

その他、癒し快適関連産業の健全な成長に向けた各種支援事業の展開。

なお、評価の対象は、実証試験の「結果報告書」および「論文」等であり、商品自体の効果効能を直接評価するものではありません。



\* 大阪健康サービス産業創造協議会(OHS協議会) <http://www.webohs.jp>

大阪の産・官・学・医が連携し、先進的な健康サービス産業の創造と大阪府民の健康づくりを支援するために、平成17年5月に設置されたプラットフォーム組織。現在、55社・43団体が参加。

# 「癒し快適エビデンス評価・支援センター」の概要

(ICBRC : Iyashi & Comfort Business Research Center)

## センター設立の目的

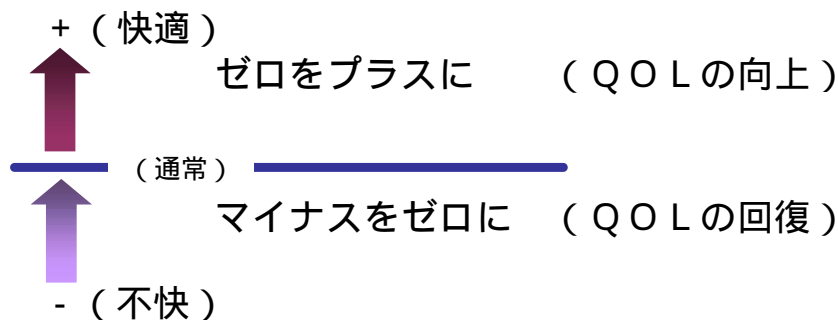
社会構造の複雑・多様化や産業構造のより一層の高度化、効率化等を背景に、心と体の安らぎを提供する癒し、疲労回復・抗疲労、リラクゼーション、メンタルヘルスケア、快適空間等に関するビジネス（商品・サービス）市場が急速に拡大していますが、科学的根拠に基づいた商品やサービスであるかどうかが明確になっていないものが、まだまだ多い状況でもあります。

しかし、中には、科学的根拠に基づいた実験プロトコルによる実証実験を着実・真摯に行い、論文等によって成果も発表されている商品やサービスも存在します。

当センターは、こうした玉石混交の癒し快適関連市場において、科学的根拠に基づいた商品・サービスであることを評価し、また、科学的根拠を確立する支援を行うことによって、癒し快適市場の健全なる発展を推進支援することを目的に設立するものであります。

## 癒し快適の定義

当センターの定義する「癒し快適」とは、精神的、肉体的に不快な状態等（マイナスの状態）から通常の状態（ゼロ）にすること、および、通常の状態（ゼロ）からより快適な状態（プラス）にすること、と定義しております。



## センターの機能と評価事業全体図

センターの主な機能は以下の3つです。

癒し快適のエビデンスに関し、「実証試験結果」および「論文」に基づいた評価を行う。

癒し快適エビデンス評価マークの発行・管理。 マークは2種類あります。

その他、癒し快適関連産業の健全な成長に向けた各種支援事業の展開。

（商品開発の為のコンサルティングや、実証実験構築支援サービスなども提供します。）

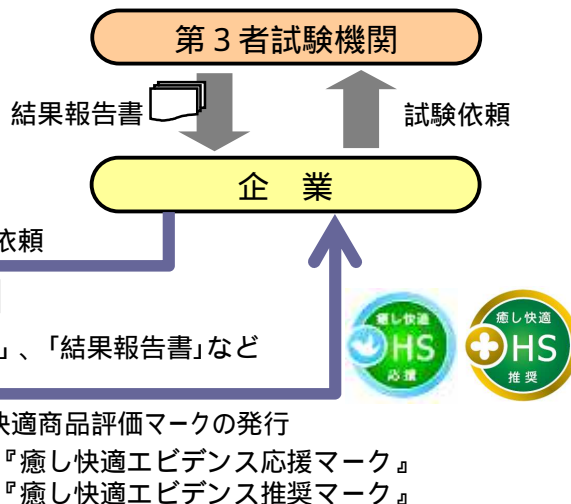
評価の対象は、実証試験の「結果報告書」および「論文」等であり、商品自体の効果効能を直接評価するものではありません。

## 癒し快適エビデンス評価・支援センター

- 機能：癒し快適エビデンス評価委員会の運営
- 機能：「結果報告書」、「論文」等の評価
- 機能：癒し快適エビデンスマークの発行、管理
- 機能：癒し快適エビデンス実証試験等に関するコンサルティング全般
- 機能：癒し快適関連分野における産学官連携のプロジェクトメイク

(評価作業)

癒し快適エビデンス評価委員会



## 評価の視点

癒し快適エビデンス評価委員会が評価を行う場合の視点は、下記の点です。

- 【視点1】：作用メカニズムの合理性
- 【視点2】：臨床試験の方法・内容
- 【視点3】：人々の癒し快適性への寄与
- 【視点4】：社会的な有用性

の4つの視点から評価を行っています。各視点とも5段階で点数評価しております。

## 評価マーク取得企業について（平成21年5月12日現在）

### 1. 「癒し快適エビデンス推奨マーク」



文部科学省・21世紀COE(卓越した研究拠点)プログラム採択事業の研究成果の活用による取り組みの1つとして、健康関連製品の「癒し」や「快適性」に関し、科学的根拠に基づいた妥当な方法による実証実験を行い、その「試験結果報告書」や「論文」に基づき、社会的・科学的意義等が認められる製品について、大阪健康サービス産業創造協議会(OHS協議会)として推奨するものであることを表します。

(第1号) シャープ株式会社 (健康・環境システム事業本部)

大阪府八尾市北亀井町3-1-72

申請テーマ: 「つつみ込む気流(冷房)機能」



### 2. 「癒し快適エビデンス応援マーク」



文部科学省・21世紀COE(卓越した研究拠点)プログラム採択事業の研究成果の活用による取り組みの1つとして、健康関連製品の「癒し」や「快適性」に関し、癒し快適エビデンス評価・支援センターが規定する妥当な方法に基づいた実証試験を行い、今後とも、社会的・科学的意義等を踏まえた製品開発に関する努力が認められた製品について、大阪健康サービス産業創造協議会(OHS協議会)として応援するものであることを表します。

(第1号) 株式会社フジ医療器

大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 大江ビル14階

申請テーマ: 「癒し・疲労回復にフォーカスしたエアリラクゼーションチェア」



(第2号) 株式会社COMFORT-LAB(コンフォートラボ)

東大阪市荒本北50-5 クリエイション・コア東大阪409

申請テーマ: 「抗疲労インソール判定システム」



# 癒し快適エビデンス評価・支援センター ( 推奨マークの説明 )



文部科学省・21世紀COE(卓越した研究拠点)プログラム採択事業の研究成果の活用による取り組みの1つとして、健康関連製品の「癒し」や「快適性」に関し、科学的根拠に基づいた妥当な方法による実証実験を行い、その「試験結果報告書」や「論文」に基づき、社会的・科学的意義等が認められる製品について、大阪健康サービス産業創造協議会(OHS協議会)として推奨するものであることを表します。

平成21年3月1日

大阪健康サービス産業創造協議会  
事務局

# 癒し快適エビデンス評価・支援センター ( 応援マークの説明 )



文部科学省・21世紀COE(卓越した研究拠点)プログラム採択事業の研究成果の活用による取り組みの1つとして、健康関連製品の「癒し」や「快適性」に関し、癒し快適エビデンス評価・支援センターが規定する妥当な方法に基づいた実証試験を行い、今後とも、社会的・科学的意義等を踏まえた製品開発に関する努力が認められた製品について、大阪健康サービス産業創造協議会(OHS協議会)として応援するものであることを表します。

平成21年3月1日

大阪健康サービス産業創造協議会  
事務局